

学校建設（カンボジア）

小中学校11棟42室完成 着工分を含め建設実績は327棟に

■建設支援校リスト（2014年度内に完成した学校）

建設累計	支援学校名	地域	受益者 (生徒数)	受益者 (教員数)	支援内容						
					校舎		トイレ		机、椅子	井戸水タンク	靴箱
棟	室	棟	室								
301	タケオ中学校	プレイベン州	80	4	1	4	1	4	96		12
302	アンコールオン小学校	プレイベン州	104	3	1	4	1	4	96	1	12
303	ポンパイ小学校	バッタンバン州	313	8	1	4	1	4	96	1	12
304	ソンカ功中高等学校	バッタンバン州	902	27	1	5	1	4	120		15
305	トゥールアンビル小学校	スワイリエン州	223	5	1	4	1	4	96		12
306	ルオンコー小学校	トゥボーグモム州	510	10	1	4	1	4	96	1	12
307	タックヴィル小学校	プレイベン州	364	5	1	4	1	4	0	1	12
308	アンロンコー小学校	バッタンバン州	433	10	1	3	1	3	72	1	9
309	プレイチャー小学校	プレイベン州	291	7	1	3	1	3	150		9
310	プレイトロー小学校	スワイリエン州	332	6	1	4	1	4	96	1	12
311	バイドムラン小学校	バッタンバン州	179	11	1	3	1	3	72		9
合計			3731	96	11	42	11	41	990	6	126

※プレイチャー小学校の机・椅子は日本から輸送された中古の机・椅子を寄贈しました。



A ルオンコー小学校の木造既存校舎



B 高田晴行スクール贈呈式にて



C プレイチャー小学校で交流する支援者



D 継続支援の文具・図書を受け取る子ども達

■支援概況

本年度も各地の学校から建設要望が届き、前年度までの要望書も含めて44校の現地調査を実施しました。その中から、

- ①教室が足りずに運営に支障がある学校。
- ②校舎が老朽化し、授業が天候に左右されたり、倒壊の危険がある学校。
- ③不完全校（6年生まで受け入れができるない小学校）

などの情報を十分協議し、優先順位の高い学校から建設を行いました。（写真A）

本年度はカンボジア4州に、小中学校11棟42室、トイレ11棟41室、給水施設6基を建設しました。これにより、カンボジア国内での校舎建設数は319棟（着工済含む）、ラオス1棟とネパール7棟（うち6棟は完成）を加えると327棟になります。

JHPの支援地域は、シェムリアップ州での建設に着手したことにより、カンボジア25地域（※）中19地域となりました。

※2013年12月、カンボジアのコンポンチャム州がコンポンチャム州とトボーンクモム州に2分割されました。

■高田晴行スクール贈呈式実施

高田晴行さんは、1992年5月に文民警察官として活動中に、同校近くで銃撃を受け亡くなりました。学校を訪問したご遺族が老朽校舎を目の当たりにし、校舎新設の要望を受けたことから、JHPが全ての事業を担うことになりました。1棟3室の校舎は、全国から寄せられたご寄付により完成し、2014年4月30日に贈呈式が行われました。（P.4上段写真参照）

■カンボジアの現状を伝える各種コーディネート

プロンペン事務所は、贈呈式、視察、ボランティア活動、交流会など、年間24組253名の支援者を迎えて、要望に合わせてコーディネートを行いました。（写真C）

■学習環境を維持するための継続支援

各学校に割り振られる学校予算では、教材、文具、図書、備品などの購入代、校舎修理代は賄えません。2014年度は、既建設校への継続支援として、ノート、ボールペン、図書、本棚などを寄贈しました。これらの継続支援は、各学校の教育の質の向上に繋がっています。（写真D）

プロジェクトの背景

国際機関、NGO等の援助により、カンボジアの状況は改善されつつあるが、一方で貧富の差は拡大している。小学校進学率は上昇しているが、不完全校（所定の学年まで受け入れができない学校）や教室不足の学校、校舎の老朽化等が深刻な学校も未だに多い。また、中学校への進学率も上昇しているが整備が行き届いておらず、教室不足のため、中学校も2部制の学校が増加している状況である。また、貧困が原因で通学が困難なため就学率が依然低い状況である。

■日本NGO連携無償資金協力（N連）の助成が決定！



E

アンロンコー小学校の最終協議での衛生指導

2014年夏から申請の準備を進めていたN連が採択され、2015年3月9日に在カンボジア日本大使館にて署名式が行われました。

カンボジアは9年間の義務教育の普及を目指していますが、今も校舎の老朽化や教室・教員不足の問題が残り、経済的な理由で就学困難な場合も含めて、中学校的純就学率は4割に満たないというデータがあります。

また、トイレや給水設備が十分に備わっていない学校が多く、特に女生徒の就学率、女性の教員の就業の観点から、衛生面にも配慮された学校の普及が求められています。事業名は、「学校環境改善のための校舎・衛生施設建設及び衛生教育支援事業」。プレイベン州コンポントラバイ郡の小学校2校、中学校1校を対象として、「校舎、トイレ、給水設備の建設」、「専門家による衛生ワークショップ」などの活動を展開し、学習環境改善及び衛生的な環境が自主的に維持されることを目指します。

また、これらの3校の事例が模範となり、近隣の他の小・中学校にも情報が共有され、カンボジアの次世代を担う多くの子どもたちの意識が変わり、衛生環境の向上に貢献できる人材が育つことを期待しています。

2015年3月末には、3校の校舎、トイレ、給水施設を着工。2015年秋の新年度開始までの完成を目指し、その後の専門家の派遣や衛生ワークショップにも備えて行きます。

■水を確保できる学校環境を目指して

当会は、校舎建設と同時にトイレ、給水設備（井戸、給水タンク、ため池）の支援を行っています。2014年度は、トイレ11棟41室、給水設備6基を支援。井戸水は研究機関で水質検査を行ない、ヒ素、大腸菌などの有無を学校に報告しています。カンボジア全土の小中高で、水を確保できない学校は40%を超えており、学校の衛生環境を維持するためには、水とトイレの確保が最優先となります。



F

完成した井戸を使うプレイトー小学校の子ども達

■衛生教本を活用した衛生指導

当会は学校建設前の最終協議の際に、教員、生徒代表、村民代表に対して当会が作成した衛生教本を使い、清潔と健康の関係、トイレの使用促進、ゴミの扱いなどの指導を行なっています。また、ゴミ箱を寄贈し、校内美化を促進しています。更に、建設後のモニタリングの際に、学校内の清掃状況やトイレの使用状況などを観察し、必要であれば教員を中心に再指導しています。

本年度は、当会オリジナルの衛生教本を、1校あたり50冊（着工前と完成後に25冊ずつ）を配布しました。



G

建設前に配布された衛生教本を読む
プレイチャ一小学校生徒

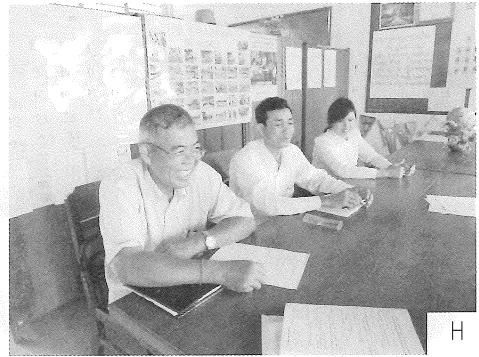
学校建設（カンボジア）

■学校建設全棟調査

調査内容は「学校の建物についての調査」「利用状況についての調査」「利用者についての調査」の3つに分かれ、調査方法も校長先生、先生、生徒へのインタビュー、アンケートに加え、利用状況を観察しています。

今までJHP支援校の約半数の調査を進めていますが、建物の重要な部分である柱や梁等への大きなダメージは見つかっていません。しかし、すべての建物は再塗装等の簡単な修理が必要です。学校側の予算では修理費を確保することが難しいため、周辺村民から寄付を募り修理を行っている学校もあり、JHP校舎が大切に利用されていることが伺えます。

2015年度も継続して調査を行い、その結果から今後の建設プランの見直しや改善を図り、より効果的な支援へつなげていきます。（写真H）



H 全棟調査のインタビューに答える先生方

■「江東区」及び「江東区海外リサイクル支援協会」との連携で中古机・椅子を輸送

2014年8月に江東区の小・中学校9校からプノンペンに届いた机・椅子のうち、150セットをプレイエン州プレイチャー小学校に寄贈しました。

尚、海上輸送のコンテナには、江東区をはじめ全国各地から当会に寄せられた楽器等も積み込み、各種支援に備えることができました。（写真I）



I 日本から贈られた机で勉強する子ども達

■各種インタビュー

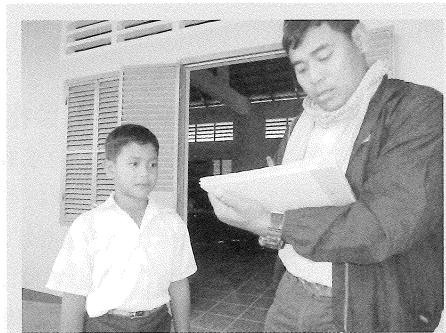
JHPでは、校舎建設のみならず、子どもたちの学びに欠かせない文具、図書、備品などをニーズに合わせて支援しています。ここでは、子どもたちや先生方の声をご紹介します。



学校名：プレイチャー小学校
名前：ケイン・ソパー（校長）
感想：ご寄贈いただきました机椅子は中古とは言え、カンボジアにとっては素晴らしい質の机椅子です。特にグループワーク時に机を移動する際には軽くとても動かしやすく、生徒でもできます。また生徒の両親も素晴らしいこれらの机椅子の感謝しており、越境して通う生徒も現れるほど、すばらしいものです。ありがとうございます。



学校名：チョムロンニエ小学校
名前：イアン サラット
性別：女子
学年：4年生
年齢：11歳
好きな科目：国語
将来の夢：医者
感想：国語が好きなので本をもらってうれしいです。



学校名：アンロンコー小学校
名前：ソック ボンディット
性別：男子
学年：6年生
年齢：12歳
好きな科目：算数
将来の夢：医者
感想：僕は本を読むのが大好きです。休み時間に全部読みたいです。大切に使います。本を送ってくれた人たちに感謝します。